

# 上宮寺通信

第五十三号

## 二つのウサギの物語

明けましておめでとうございます。

昨年は世相をあらわす漢字として「戦」が選ばれるほどの激動の年となりました。いまなお続くロシアによるウクライナ侵攻という不幸な戦い、北京オリンピックやサッカーワールドカップでの日本選手の活躍といううれしい戦い、いろいろなことがありました。今年はどうなることになるのでしょうか。

過去のうさぎ年を調べてみますと、戦後日本の独立が承認されたサンフランシスコ平和条約調印(一九五一年)、ベトナム戦争終結(一九七五年)と平和に向けての第一歩が歩みだされる

年でもありました。ウクライナをはじめ世界に平和がもたらされる年であることを心より願います。

そのためには「自分さえよければ」という自分中心の考えではなく、他者を思いやる慈悲の心が大切。お釈迦様の前世の物語を描いた「ジャータカ」よりウサギにまつわるお話を紹介したいと思います。

むかし、あるところにウサギとサルとキツネが仲よく住んでいました。あるとき、力尽きて倒れている年老いた旅人に出会いました。

三匹は旅人を助けようと考え、食べものを集めることにしました。

サルは木の実を集め、キツネ

は川から魚を捕ってきました。しかし、ウサギはどんなに苦勞しても何も取ってこることができませんでした。

そこで、何とか旅人を助けたいと考えたウサギは、火を焚いてもらい、そこに自らの身を投げ入れて食べてもらうことにしました。

その姿を見た旅人は、帝釈天に姿を変えて、ウサギの捨て身の慈悲行をほめたたえ、その尊い思いが世界中に知れ渡るように月にウサギの姿を描いたということです。

そして、このウサギこそがお釈迦様の前生の姿だったので

は、ウサギは歩みの遅いカメをバカにして油断し競争で負けてしまうという役割となっていました。もし「ジャータカ」で説かれていたような慈悲心が少しでもあれば、遅いカメと手を取り合って一緒にゴールするという違った展開になったかもしれません。

「ジャータカ」と「イソップ物語」のどちらのウサギが自分に似ていると思えますか。



日本でよく知られているイソップ物語の「ウサギとカメ」で

◆行事案内

上宮寺の年間行事予定

3月8日(水)

春のお彼岸・永代経法要

法話：林 祥真師(一宮市禮讃寺)

7月下旬

夏休み おつとめのけいこ

8月13日(日)・14日(月)

お盆(盂蘭盆会) 法要

9月8日(金)

秋のお彼岸・永代経法要

法話：未定

11月8日(火)

報恩講

法話：伊奈祐諦師(西尾市安楽寺)

◆話題あれこれ

○上宮寺の年間行事予定を上  
に挙げておきました。社会状  
況の変化などで変更もしくは  
中止にする場合もあります  
が、どうかご予定いただきま  
すようお願いいたします。ま  
た、その他にも行事を企画し  
ましたら、その都度ご案内い  
たします。

○今年3月～4月にかけて京  
都・東本願寺では慶讃法要と  
いう大きな法要が勤められま  
す。4月8日(土)には舞楽  
も行われる予定です。



○年忌法要の予定がございまし  
たら早めにご連絡をいただきま  
すようお願いいたします。

令和5年に年忌が当たる年の没  
年は次の通りです。

- 一周忌(令和4年)
  - 3回忌(令和3年)
  - 7回忌(平成29年)
  - 13回忌(平成23年)
  - 17回忌(平成19年)
  - 23回忌(平成13年)
  - 27回忌(平成9年)
  - 33回忌(平成3年)
  - 37回忌(昭和62年)
  - 43回忌(昭和56年)
  - 47回忌(昭和52年)
  - 50回忌(昭和49年)となります。
- カツコ内が没年です。

○体調を崩しやすい時期ですの  
で、くれぐれもご自愛ください。

【お志ありがとうございます】

渡邊延幸様

【雑感】

一九九九年、二〇一一年はと  
もにうきぎ年です。この年は中  
日ドラゴンズが優勝した年でも  
あります。ということは今年も  
優勝するのではないかと気分は  
盛り上がります。最下位だった  
チームを立て直すため、このシ  
ーズンオフにかなり活発に動き  
ました。主力選手のトレード、  
新外国人選手の獲得など大が  
かりなチーム改革が行われていま  
す。干支がひとまわりの十二年  
も優勝から遠ざかっているの  
で、なんとか頼みます、立浪監督！  
(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金一丁目十九番十五号

☎052-871-0547